

[PRESS RELEASE]

報道関係者各位

2013年6月12日
株式会社ディスコ**女子学生の就職・キャリアステップ意識調査
就活スタート当初と、入社決定時期での比較レポート
(2013年6月発行)**

株式会社ディスコ（本社：東京都文京区、代表取締役社長：夏井丈俊）は、2013年3月に卒業した就職活動モニターのうち、就職先が決まった女子学生を対象に2013年3月19日～3月22日の期間、就職活動や職業観に関するアンケートを実施しました。就職活動をスタートしたタイミングの12月時点の希望と、実際に就職した結果とを比較し、就職活動の推移によって変化する様子を浮きぼりにします。

<< 内 容 >>

- 1、 希望業界と入社した業界
- 2、 希望した企業規模と、実際に入社した企業規模
- 3、 コース（職掌）について（希望コースと入社企業のコース）
- 4、 予定勤務期間（入社希望にいつまで働く予定か）
- 5、 企業研究で意識したこと
- 6、 女性で「よかった」「損をした」と思った経験とコメント集
- 7、 企業に言いたいこと（コメント集）

《調査概要》

- 調 査 対 象 : 日経就職ナビ 2013 就職活動モニター（2013年3月卒業）のうち、
卒業までに就職先が決まった女子学生
- 調 査 方 法 : インターネット調査法
- 調 査 期 間 : 2013年3月19日～3月22日
- 回 答 者 数 : 196人（内訳：文系144名、理系52名）

日経就職ナビは日本経済新聞社が主管し、株式会社日経HRが企画・管理を担当し、株式会社ディスコが運営事務局を務めています。

<本リリースに関するお問合せ先>

株式会社ディスコ 社長室 広報担当

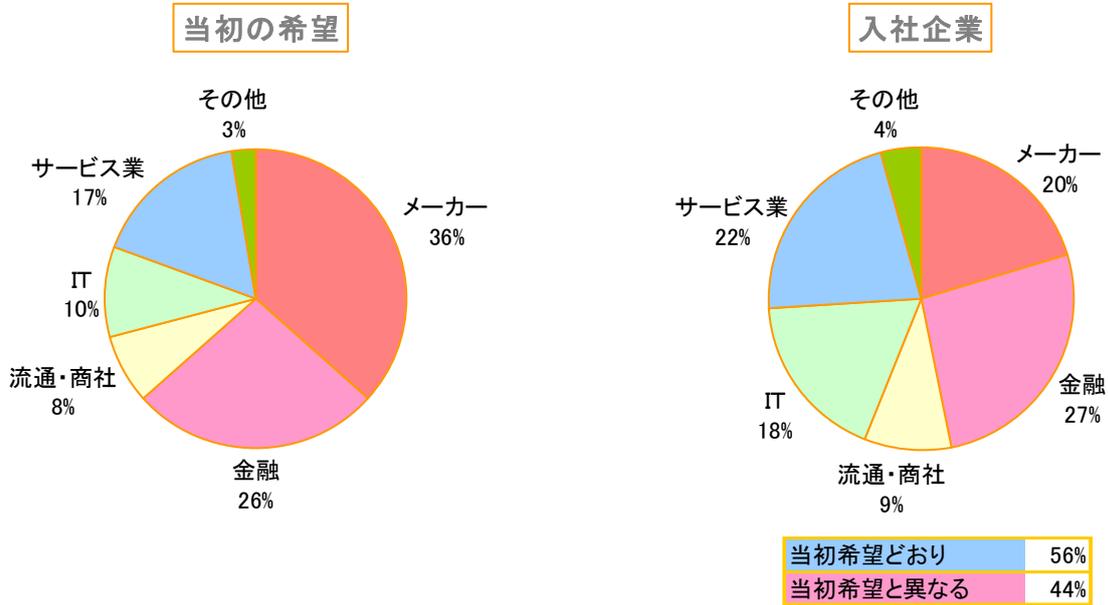
Tel : 03-5804-5707 Email : pr@disc.co.jp

コーポレートサイト URL : <http://www.disc.co.jp/>

参考資料

図表 1

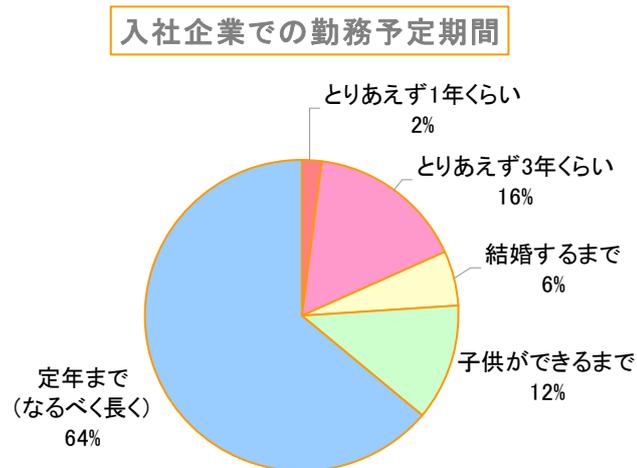
就職活動をスタートした当初（3年生12月頃）に希望していた業界と、実際に入社することになった企業の業界との比較



資料出所：株式会社ディスコ「2013年度 女子学生の就職活動アンケート結果」（2013年3月）

図表 2

入社企業にいつまで（どのくらいの期間）勤めるつもりかを質問

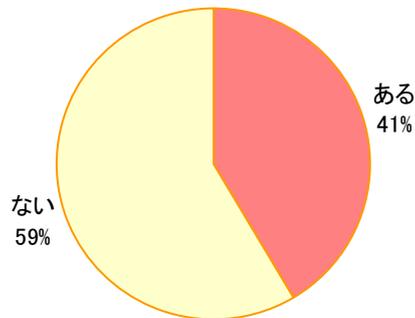


資料出所：株式会社ディスコ「2013年度 女子学生の就職活動アンケート結果」（2013年3月）

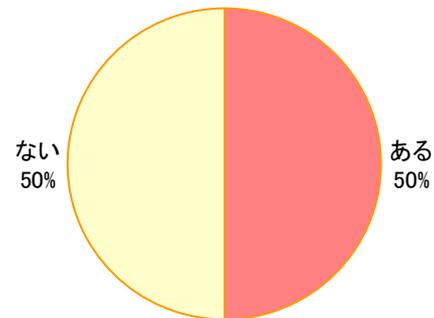
図表 3

就職活動中に「女性でよかった」と思った経験と、「女性で損した（理不尽だ）」と思った経験について質問

就活中に「女性でよかった」と思った経験



就活中に「女性で損した」と思った経験



■「女性でよかった」と思った理由

- 総合職か地域総合職か一般職か、というように選択肢が多い。
- 地元が好きのため転居を伴う転職をしたくなかったが、男性で一般職やエリア総合職に就いているケースが全くなかったから。
- なかなか内定が得られないとき、親や周囲からのプレッシャーは男性の方が強い気がする。女性は、主に結婚や育児等を理由に多様な生き方が社会的に認められていると思う。
- 男性と違い、一生働かなければならないという縛りが緩い気がしたので、幅広い業界をみることができたのではないかと感じています。
- 自分は理系の女性だが、絶対数が少ないのでライバルが少ないと感じた。（もちろん男性もライバルですが）
- 採用にあたっては不利だが、採用されてしまえば割と優遇されているようだから。
- 服装やメイクなどで印象を変えやすい点。志望企業によって変えていた。

■「女性で損した（理不尽だ）」と思った理由

- すぐ辞めると思われやすい。
- 「女性だから総合職じゃなくて一般職の方が良いんじゃないの、コールセンターとか」という発言をされたことがある。舐められていると思った。
- 総合職ではなかなか内定が出にくい。
- ライフプランを考えた時に結婚や出産で仕事に影響が出やすいのは女性だと感じたため。
- 「この会社ならどんなに大変でも総合職として働きたい！」という思いを持って臨んでも、「結婚しても転職あるけど、本当に大丈夫？」と聞かれ、疑われているような気がした。
- 技術職の面接で、女性がお茶出しをすることをどう思うか？と質問された。
- 結婚後や出産後についてたびたび聞かれるので、面倒でした。
- 製造業で面接を受けたとき、女では無理だというような顔をされてしまった。